



この文章を良くお読みください。不明確な事がございましたら、海へ入る前にライフガードにご質問ください。

船の乗務員やライフガードは、お客様が安全な1日をお過ごしできるようお手伝いいたします。

しかしながら、スノーケリングや遊泳はお客様の自己の責任において行って頂くアクティビティです。

- スノーケル/遊泳前に飲酒しない。
- スノーケル/遊泳前に暴飲暴食しない。
- スノーケル/遊泳は、ライフガードから見える範囲内で行う。
- ポンツーン(海上デッキ)を目印に自分がスノーケル/遊泳している位置を把握する。
- スノーケル/遊泳は必ず二人組み以上で行う。
- スノーケル/遊泳中、体に異常を感じたら両腕または片腕を頭の上で大きく横に振り、ライフガードにサインを送る。ライフガードの言うことに従い、救助を待つ。
- 潜水中に体に異常を感じ、水面に浮上する場合、手、腕をまっすぐ水面に向け伸ばし、他の遊泳者や障害物にぶつからないよう浮上する。
- スノーケル/遊泳用のライフジャケットを用意しています。
- 船の長い汽笛1回は、スノーケル/遊泳の終了、水から上がる時間をお知らせする汽笛です。
- スノーケル/遊泳中に疲れを感じたら、無理をせずにポンツーンに戻り休憩を取ってください。

ご自身の健康状態と体力に注意し、スノーケル/遊泳にてその限界を超えないよう気をつけてください。サンゴの上に乗ってサンゴを壊したりしないよう海洋公園管理局がスノーケル/遊泳水域の水深と水域を設定したものです。スノーケル/遊泳は、時として激しい運動となります。心臓病、ぜんそく、肺の異常、てんかん、糖尿病、クラゲ刺されのアレルギーや、その他のいかなる病状等過去に経験されているか、現在お持ちの方は、激しい運動により体調や症状が悪化したりする可能性が高まります。ご自身の体調に特別に注意を払い、海に入る前に必ずライフガードへ症状や体調についてお伝えください。

- 貝や魚、サンゴなどを含む、数種類の海洋生物は防衛機能を持ち、触られたり脅かされたりすると刺したり噛んだりするものがあります。海洋生物には触れずに観賞、観測するのがお互いに最善な方法です。
- 海藻やサンゴは触れると毒が放たれ、痛みを伴い、腫れたり、かぶれたりするものがあります。全ての水中生物を保護と共に怪我を避けることでも、触ることはお控えください。
- クラゲは季節や気象条件にもよりますが、常にこの水域に存在している可能性があります。ほとんどのクラゲは無害とされていますが、数種のクラゲには毒性の非常に強いものがあり、刺された場合には医師による治療が必要とされます。海に入られる際には、船のスタッフやライフガードによる当日の海のコンディション、クラゲ発生の有無など良く聞き理解してください。

安全にスノーケリング/遊泳するためのアドバイス

- ポンツーンのスノーケリング・デッキ近くの置き場から自分に合った水中マスク、スノーケル、足ヒレを選びご利用ください。
- デッキ上での転倒を防ぐため、足ヒレを履いたままデッキ上を歩かないでください。足ヒレは水面下のスノーケル・デッキにて着用してください。
- 水中マスク、スノーケルは、消毒液で洗浄しています。着用前に海水でゆすいでから着用してください。
- 水中マスクはご利用前に曇り止めをしてください。マスク内側のガラス面に唾(つば)をつけ、指でよく擦ってください。そして海水で軽くゆすいでから着用してください。
- 水中マスク着用の際、海水が入る原因になりますので、額の髪の毛がマスクとの間に入らないよう、着用してください。
- 水中マスクのストラップは、頭頂部のつむじに掛かる様にし、耳に障らないように着用してください。
- スノーケルのマウスピースをくわえたら、唇をしっかりと締め、鼻を使わず口だけで呼吸してください。
- 水中マスクに水が入ったら、水面に顔を出し、頭を後ろに反らせてマスクの下部を持ち上げ水を抜いてください。
- スノーケルに水が入ったら、大きく息を吐き出して水を飛ばすか、水面に顔を出してスノーケルを口から外して水を抜いてください。
- もし、マスクやスノーケルの着用で違和感や不快感を感じたら、最寄の船のスタッフに適切なアドバイスを受けてください。
- スノーケル/遊泳中は、常に前方、周囲を見、他のお客様やブイなどとの衝突しないよう注意してください。

重要！！

スノーケル/遊泳中に万が一、サンゴにより擦り傷や切り傷を受けた場合、あとになって傷口が化膿しないよう、船のスタッフから消毒を受けてください。

この用紙を海に入られる前にライフガードにお渡しください。



スノーケルを安全に行うためのご案内と承認書

今日、お客様が行うスノーケリングは安全なアクティビティーではありますが、日常生活以上にお体に負担のかかるアクティビティーです。

スノーケリングは、時として激しい運動となりえるアクティビティーであり、お客様の体調やお体の機能に障害を与える可能性も高まる場合が考えられます。お客様の疾病履歴や体調が以下の事項に一つでも当てはまる場合には、この用紙の下部にお名前とご署名の記入をされ、私ども船のスタッフへお渡しください。この用紙を受け取る事により、ライフガードが特別の注意を払い、お客様のスノーケル／遊泳中の監視を行います。

Rate your swimming ability: I have snorkelled before. How long since last snorkel? _____

Strong swimmer. Average swimmer. Poor swimmer. First time swimming.

- 心臓に関係する病歴、手術経験、治療中の症状のある方。
- 高血圧症または、低血圧症の方。
- 平常時または、軽度の運動時に息切れをされる方。
- 過去または現在、喘息(ぜんそく)をお持ちの方。
- 過去または現在、肺気腫(はいきしゅ)をお持ちの方。
- 過去または現在、その他、肺に関わる疾病をお持ちの方。
- 過去または現在、てんかんを経験したことのある方。
- 失神したことや発作を起こしたことのある方。
- 最近、頭部に怪我をしたり、脳震盪(のうしんとう)を起こした事のある方。
- 糖尿病を患っている方。特に糖尿病のお薬など服用されている方。
- 本日、すでに飲酒をされている方。

お客様にお知らせ頂いた健康状態の情報を基に、以下の事項を心がけて頂く事でお客様のスノーケリング／遊泳中の安全度を高めることができますので、良くお読みになってください。

- スノーケル／遊泳は必ず、二人以上の組になって行う。
- スノーケル／遊泳は、できるだけポンツーン(海上デッキ)に近いところ(黄色の浮き具より近い水域)で行う事でライフガードがより監視しやすく、異常時の発見や救助も早く行う事ができます。
- スノーケル／遊泳用ライフジャケットの着用をお勧めします。着用により、より落ち着いた状態でスノーケル／遊泳をお楽しみ頂く事ができます。
- 万が一の異常時に必要なお薬など携帯されておられれば、水に入る前にライフガードへお預けください。
- ライフガードがお客様に特別の注意を払って監視できるように、先端の赤いスノーケルをご利用ください。この先端の赤を目印にライフガードはお客様を見守ります。
- ご自身の体調に心配がお有りのお客様は、船のスタッフとスノーケル／遊泳できるよう、お申し出ください。

私はこの案内・承認書を読み、スノーケリング／遊泳についての日常生活以上の体への負担とそれに伴う危険性を理解しました。

乗客お名前: _____

乗客ご署名: _____ 日にち: _____

Crew Member Name: _____

Crew Member Signature: _____ Date: _____

この用紙を海に入られる前にライフガードにお渡しください。